

さいたま市立上小小学校 10月号

令和7年9月30日



上小小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1

HP <https://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL:048-644-6251

教育目標

- ◎心豊かな子
- ◎進んで学ぶ子
- ◎健康な子



読書の秋

校長 大島 恵美

四季が豊かな日本には、季節や気候を表す言葉がたくさんあります。中でも「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉は、気候の変化を感じるこの時季に、これほど納得しながら使われるものはほかにありません。校庭を吹き渡る風の爽やかさに加え、見上げれば青い空に浮かぶひつじ雲。身体全体で秋の景色を感じられる季節となりました。暑さ指数も下がり、休み時間には校庭を元気に走り回る子どもたちの声が響いています。まさに「文化・スポーツの秋」の到来を感じさせてくれます。

先日、私は「図書館司書」として、業間休みや昼休みに本の貸出業務や整理のお手伝いをしました。校庭で遊びやすい季節になったこともあり、来室する児童は多くはありませんでしたが、本好きな子どもたちは借りた本を読み終えると、翌日には新しい本を借りに来ていました。そうした子どもたちの選ぶ本は、学年よりも高いレベルのものも多く、私も驚かされました。また、「読書の時間」におじゃました際には、読み聞かせにも挑戦させていただきました。何年生になっても、読み聞かせはやはり楽しいものです。読み終えると「その本を読みたい」と本に群がる子どもたち。借りる本を探す時間には、「またこれを借りよう!」と同じ本を選んだり、「何を読んだらいいかわからない」と迷ったりする声も聞かれました。子どもたちは安心感を求めるため、同じ本を繰り返し選びがちです。そこで登場するのが司書の役割です。三枝先生が発達段階に合った本を紹介してくださり、最終的には子どもたち自身が選書して教室に戻って行きました。

タブレットやインターネット、生成 AI など、学習スタイルや情報源が多様化した今だからこそ、たくさんの本に触れて「読解力」を身につけることがますます重要になっています。書かれている内容が理にかなっているかを確かめながら、文章が持つさまざまな解釈の可能性を考え、安易に信じ込まない——そうした力が求められています。

令和7年度全国学力・学習状況調査の児童質問紙にある「読書は好きですか?」という項目で、本校の肯定的な回答は全国平均を上回りました。昨年度のさいたま市学習状況調査でも同様の結果でした。子どもたちの「好き」をさらに具体的な形にするため、今年も図書委員会の児童を中心に「読書イベント」を開催します。ご来校の際は、ぜひ学校図書館にもお立ち寄りください。

秋の夜長、親子で読書などいかがでしょうか?